

平成 29 年度当初予算の方向性について

(障がい者の暮らしやすい鳥取創造チーム資料より抜粋)

テーマ 1 障がい者雇用の取組

【検討項目】

- ・障がい者新規雇用 1000 人創出に向けた取組の促進
(障がい者雇用の創出・障がい者の離職防止・福祉就労から一般就労への加速)

【平成 29 年度に向けた検討項目・内容】

○障がい者の離職防止

- ・障がい者雇用企業への「障がい者職場サポーター」配置
- ・ジョブコーチ支援の充実 ・障がい者雇用企業と支援機関のネットワークづくり
(障がい者を職場で指導したり支援する人に研修を行い「職場サポーター」として認定。職場サポーターをジョブコーチが支援する仕組みを作る)

○障がい者雇用の創出

- ・精神障がい者、発達障がい者の就労・定着支援のためのクロスジョブ方式の全県展開
- ・離職した知的障がい者の再就職のための再訓練

○福祉就労から一般就労への加速

- ・施設外就労の促進による一般就労への移行促進

テーマ 2 工賃向上の取組

【検討項目】

- ・工賃向上のための各種取組 (日本財団共同プロジェクト含)
- ・優先調達目標達成に係る各種取組の検討

【平成 29 年度に向けた検討項目・内容】

- ①日本財団共同連携プロジェクトによる取組を引き続き推進。
- ②農業参入する企業による事業展開の中で、積極的な障がい者の受け入れを図る企業に対する支援の検討。

※支援内容として、「(株) フジオファーム」が「パッシブハウス (※栽培環境を自動で整えたビニールハウスで、障がい者の就労環境の向上に繋がるとされるもの)」の設置経費等を想定している。

テーマ 3 県全体のバリアフリー化の更なる推進 (ハード面)

【検討項目】

- ・県内公共施設等のバリアフリー化の更なる推進を図る。
(※H28 パラ陸上大会、東京オリパラ等に向けた取組も必要)
→公共施設・交通機関、道路、宿泊施設、観光施設、文化施設、体育施設、運動公園、学校、避難所等のバリアフリー化

【平成 29 年度に向けた検討項目・内容】

- ・県立施設及び民間施設のバリアフリー化の促進等
※補助制度の充実・活用促進、民間事業者への周知等
⇒別紙のとおり

テーマ4 県全体のバリアフリー化の更なる推進（ソフト面）

【検討項目】

- ・各部署の協力を得て、企業等へ周知を行い、あいサポーター、あいサポート企業・団体の更なる増加を目指す。
- ・東京オリパラに向けて、誰でも楽しめる旅と観光地づくりを進める。
→県外等障がい者の来訪促進を念頭に受入体制整備等を図る。

【平成29年度に向けた検討項目・内容】

- ・「障がい者が暮らしやすい地域づくりの基本条例（仮称）」関連施策の推進
⇒あいサポート運動の拡大（サポーター及びあいサポート企業・団体増加への取組、全国の自治体との連携促進・強化等）
- ・バリアフリー観光ルートの策定に向けた取組の推進（10ルート目標）※H31年度までに

テーマ5 障害者差別解消法施行後の取組推進

【検討項目】

- ・行政（県・市町村）及び民間事業者における取組推進

【平成29年度に向けた検討項目・内容】

- ・「障がい者が暮らしやすい地域づくりの基本条例（仮称）」関連施策の推進
⇒あいサポーター及びあいサポート企業・団体の増加に向けた取組
⇒あいサポート運動の拡大（全国自治体との連携促進・強化等）
⇒民間事業者への合理的配慮を実施するための経費の一部助成

テーマ6 障がい者アートの推進

【検討項目】

- ・県内の障がい者アートの振興
- ・「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」での活動を積極的に展開

【平成29年度に向けた検討項目・内容】

- ・2020年まで全国各地で障がい者アートの取組が積極的に行われるよう「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」加盟県と連携しながら推進する。
- ・県内では、あいサポート・アートとっとり祭（舞台芸術）やあいサポート・アートとっとり展（作品展）を東京オリパラ関連事業として、継続的に取り組む。